

さかえ会(13区社協)会報第6号 (H26.12.2)

発行責任者 さかえ会運営委員長 湊 節雄 住所 笠間市石井1328-5 ☎72-3946

13区自主防災会災害時対応訓練

11月9日(日) 13区自主防災会が、防災時訓練として炊飯訓練をしました。

今回は、班長さんを対象に声掛けをし、区の役員さんと班長さんが、約20名の方で降りしきる雨の中、かまどで薪を燃やしながらご飯を炊き上げ、脇のかまどの鍋でけんちん汁を作りました。

参加男性は、ご飯のかまどの火力係を受け持ち釜から吹きこぼれる様子で、火力を調節し炊き上げました。

今回の会場は、通常の計画地と異なり、訓練ということで自主防災会長宅の庭地を借用しました。「初めちよろちよろ・中ぱっぱ・赤子鳴いても蓋とるな」こんな語調で出来ました。参加者の皆さん、お焦げに醤油を垂らして昔の思い出に浸っていたようです。もちろん、おこげは美味しかった！

釜からおにぎりに直接は出来ないので一旦、冷まし様に容器に移し替えてから女性陣が塩握りを作りました。もちろん衛生にも気配りして、使い捨ての衛生手袋を使用しました。

お鍋のけんちん汁も美味しく、おにぎりと一緒に皆さんお代わりして頂きました。

鍋の具材は、当家の奥様が前もってカットしておいてくれましたので、今回は楽にできましたが、災害時にはどのようにするかは今後の検討が必要でしょう。

また今回は、事前に打ち合わせで準備ができましたが、災害時にはどのような体制で実行するか、指導者を数名指定しておく必要があるのではないのでしょうか？

高齢者が二セ電話詐欺にあわないように

急な話で、お金に絡む事は、スグに対応しないようにしましょう。カードに絡む話、子どもに成りすまして、携帯電話番号が変わったことを事前に知らせる話、お金が急に必要だという話、お金の要求時に他人に相談するなと口止めする話、お金を部下や知人に受け取りに行かせる話など危険です。

不審な電話があった時は、すぐに警察に相談しましょう。

災害時対応マニュアル 地震が発生した時の心得

- ① 先ず、我が身の安全を確保する 机の下にもぐる・転倒する家具に注意
- ② 火が出たらすばやく消火 天井に引火する前だったら初期消火が可能
- ③ 脱出口の確保 地震で家が傾くと戸が開かなくなるので、常に考える
- ④ 慌てずに避難 子供・年寄り・病人を優先的に避難させる
- ⑤ 慌てず身づくろい 長袖や上着は木綿等に・足を守る履物・ヘルメット
- ⑥ 慌てずに必需品を携行 必要最小限の物を持つ
- ⑦ 避難は徒歩で 車は、道路の渋滞や、退路の変更などが自由にならない
- ⑧ 戸外では危険なものから身を避けよ ガラスやブロックの倒壊に注意
- ⑨ 山崩れや、がけ崩れに注意 13区の防災マップを参照
- ⑩ 正しい情報 携帯ラジオなどで常に情報を確認する

ボケ封じ長生きの心得Ⅱ (8番まであり:作者不詳)

- 3 お金の欲を捨てなはれ なんぼゼニカネ在っても
死んだらもっていけまへん あの人はいいい人やった そないに人から言われる
生きてるうちにバラまいて 山ほど徳を積みなはれ
- 4 というのはそれは表向き ほんまはゼニを離さずに
死ぬまでしっかり持ってなはれ 人にケチと言われても お金があるから大事にし
みんなベンチャラいうてくれる 内緒やけどほんまだっせ

(5番～は、後日)

歳末の交通事故防止対策は、一人一人の心がけ

「この地区は、交通事故ゼロを目指そう」

住宅用火災警報器を設置しましたか？

先日の回覧でも チラシが入ってましたね。これからの季節、寒くなり、乾燥して火災が多くなります。早い内に取り付け、命を守りましょう。

※ 問い合わせ先：笠間消防署 予防係 電話 73 - 0119